

# 知識は 旅をする



広重 六十余州名所図会

下総、銚子の浜、外浦 嘉永六年（1853）  
（ブルヴェラー・コレクション）

千葉県立東部図書館だより  
2016年11月

## 第57号



### ■トピックス

#### ▼歴史講座(千葉県立中央博物館連携事業)のご案内

『国指定名勝「屏風ヶ浦」－銚子半島をめぐる文人文豪たちの遊歴と観光－』

講 師 内田 龍哉 氏  
千葉県立中央博物館 主席研究員 兼 歴史学研究科長  
日 時 11月5日(土) 13:30～15:30(開場13:00)  
会 場 千葉県立東部図書館 3F研修室  
定 員 60名(先着順) 聴講無料

お電話またはご来館にてお申し込みください。

#### ▼はつらっライフ講座のご案内

『年金の基礎知識』

講 師 添田 ミツ江 氏 (千葉県金融広報委員会 金融広報アドバイザー)  
日 時 11月12日(土) 13:30～15:00(開場13:00)  
会 場 千葉県立東部図書館 3F研修室  
定 員 40名(先着順) 聴講無料

お電話またはご来館にてお申し込みください。

#### ▼年末年始休館のお知らせ

12月29日(木)から1月4日(水)まで、休館します。  
なお、休館中でも資料の返却ができますので、東部図書館正面、入口左側のブックポストをご利用ください。



「瀬戸内の海賊 村上武吉の戦い」  
山内 譲／著（増補改訂版）  
新潮社 2015 [2174/5/15]

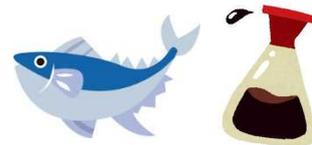
“日本最大の海賊”の本拠地も今年の日  
本遺産に認定されました。本屋大賞受賞  
の和田竜の小説『村上海賊の娘』を讀ん  
で興味をそそられた方も多いかもしま  
せんね。この本は膨大な古文書や関連遺  
跡の調査報告、ルイス・フロイス等の記  
録まで様々な資料を駆使して、謎の多い  
海賊たちの世界に迫った海賊研究の入門  
書。巻末には瀬戸内しまなみ海道をたど  
る海賊遺構ガイドや、小説創作の裏話も  
明かされる和田竜氏との対談も収録して  
おり、海賊の世界をより深く知りたい人



にオススメの  
一冊です。

「房総と江戸の交流史」  
土屋 浩／著  
雄山閣 2015 [C205/16]

この本では江戸時代の千葉の様子が分  
かります。例えば、江戸時代後半の下総国  
内の家数は、銚子、佐倉城下、佐原村、船  
橋の順に多く、それは上総、安房を加えても  
変わらなかったようです。元になっているの  
は、県史や市町村史など各自治体の歴史を  
まとめた資料や研究書。その他、河川の付  
替えなど土木工事や馬を育てる牧の経営、  
鮮魚・醤油など産物とその物流など、幕府の  
支配を受けた房総がどのような役割を担っ  
ていたか見ることができます。簡潔に各地域  
の説明がまとまっており、更に知りたい事柄  
を見つけたら、引用元の資料を讀むと詳細  
が分かるでしょう。



図書館ぶらり散歩（41）

## 日本遺産

祝☆北総四都市江戸紀行認定!!

「トモンビ  
銚子電鉄の小さな奇蹟」  
吉野 翠／著  
TOブックス 2015 [C936/㊦1]

銚子市内をのんびりと走る銚子電鉄。そ  
の駅舎や風景を舞台に3人の乗客が織りな  
す物語です。

高校生の杏子は吹奏楽部の先輩に恋を  
して入部します。さて、この恋の行方はいか  
に？父が電車の運転手だった佐崎は子供  
時代の夢を叶えるために千葉から銚子を訪  
れます。『撮り鉄』の熊神は初めて女性に一  
目惚れをして、運命が変わっていき……。

銚子電鉄の社員や周囲の人たちが、主  
人公達を応援したり助けたりして優しい気持  
ちになる物語です。君ヶ浜駅の駅長猫・きみ  
ちゃんも登場します。

来年には映画の公開  
予定も決まっており、そ  
の前に原作を讀んでみ  
ては、いかがでしょうか。



「お蚕さま物語」  
角田 新八／著  
上毛新聞社事業局出版部  
2014 [63213/3]

平成27年に「かかあ天下一ぐんまの絹物  
語一」が日本遺産に認定されました。古くか  
ら絹産業が盛んな群馬県では、女性が養  
蚕・製糸・織物で家計を支えてきました。

そして蚕は「お蚕(こ)さま」と呼ばれ、子ど  
ものように、家の中で大切に育てられていま  
した。しかし今日では、農業形態が変化した  
農村から「お蚕さま」の記憶は薄れ、忘れら  
れてしまう危機にあります。

この作品の中では、ふるさとの姿がたくさ  
んの写真とともに紹介されています。それら  
を通し、生活と結びついた  
養蚕農家の姿を垣間見る  
ことができます。歴史資料  
としても後世に伝えていき  
たい記録といえるでしょう。



※ [ ] 内は資料の請求記号です。

## 千葉の豊かさ発見 -日本の忘れものがここにある-

6月11日(土)、当館3F研修室にて文学講座を開催しました。江戸川大学メディア・コミュニケーション学部マス・コミュニケーション学科長の佐藤 毅(さとう たけし)氏を講師にお迎えし、「千葉の豊かさ発見-日本の忘れものがここにある-」という演題でご講演いただきました。37名の方が参加され、佐藤先生の語りに心地よく引き込まれた充実の2時間でした。



講義は、古来から豊かな恵みを享受していた千葉の風土についての説明からでした。続けて、海に囲まれた千葉の地形や万葉集に収められた和歌、古事記や更級日記など古典文学の中の千葉に関連する記述、地域の伝承など様々な事柄をつなげ、わかりやすく解説していただきました。更に、幕末から明治にかけて来日した外国人が日本人の姿を記した文章、千葉を舞台に描かれた江戸時代の大作「南総里見八犬伝」とその作者馬琴に関するエピソード、江戸の歴史的背景なども。そして終盤、江戸文化の「粋」やその時代の暮らしに息づく庶民の美学に気づかされ、現代に生きる私達自身の生き方、在り方を見つめ直すことへとつながりました。「日本人であること、千葉に生まれたことの良さを再認識した。」「お金をかけずとも豊かさは得られる。心の豊かさを涵養したい。」「何気なく過ごしている中に本当の豊かさがある。それを発見し、感謝しながら、次に向かうことを考えなければ。」「人口減少の進む地方において、若者が生き方を再考してくれるよう願っている。ぜひ高校生ら多くの若者に聞いてもらいたい。」など多くの感想が寄せられました。

## 平成28年度 はつらつライフ講座 報告

### 生活習慣病を予防する食事



10月15日(土)、当館3F研修室にて はつらつライフ講座を開催しました。はつらつライフ講座はシニア世代の暮らしに関するさまざまな課題を解決するための情報を提供する講座です。今回は講師に総合病院国保旭中央病院の管理栄養士 玉置 寛子(たまき ひろこ)氏をお迎えし、「生活習慣病を予防する食事」という内容でお話を伺いました。23名の方が参加されました。

講座では積極的に取り入れたい食品や塩分を控えるための工夫など、スライドショーを使いながら分かりやすく説明していただき、受講者の方々からも好評でした。質疑応答では、参加者それぞれの悩みや疑問に対し、丁寧かつ確かなアドバイスをしてくださり、皆様安心されていました。講座後のアンケートでは、「生活習慣病を考える年代になってきているので、今回の講座はそのきっかけとなる良い機会になった。」「いろいろな質問に明確な回答をいただき役に立った。」などの声が寄せられました。また、「生活に役立てたいので、今後もこのような講座の開催を希望します。」など引き続き今後の講座に期待する内容のご意見もいただきました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

11月12日(土)には、はつらつライフ講座「年金の基礎知識」が開催されますので、参加ご希望の方は東部図書館カウンターでお申込みいただくか、お電話でお申込みください。ご参加お待ちしております。

**その他、さまざまな講座や催しを今後も予定しております。ぜひふるってお申し込みください。**

## 「田子の浦」は千葉県？

### 【 質問内容 】

山部赤人の和歌「田子の浦に うち出でてみれば白妙の 富士の高嶺に雪は降りつつ」(百人一首)と、「田子の浦ゆ うち出でてみれば真白にぞ 富士の高嶺に雪は降りける」(万葉集)の「田子の浦」は千葉県鋸南町であるという説を聞いたが、その説の根拠が知りたい。また文献があれば見たい。

### 【 調査経過 】

①『百人一首私注』や『万葉集全解』などの解説書を確認すると、いずれも「田子の浦」は静岡県 の薩埵峠の西、由比・蒲原あたりの海岸や、静岡県富士市の海岸を指していると解釈されている。

②「田子の浦」が静岡ではなく鋸南であるという説について調べるため、Google でキーワード「田子の浦 鋸南町」で検索。検索結果に鋸南町役場公式サイト内の「きよなんのむかしばなし」のページがあり、鋸南説についての記述があった。説を唱えたと書かれている山口志道について調べるため、Google で「山口志道」と検索。鴨川市のホームページがヒットし、「国学者 山口志道」には、山口志道(山口杉庵、さんあん、すぎあん)と記載されていた。

③自館所蔵検索システムで全項目「山口杉庵」、「房総 万葉集」で検索すると関連する資料が見つかった。さらに千葉県内図書館横断検索で全項目キーワード「山口杉庵」で検索するほか、郷土資料コーナーを見てみると別の関連資料が見つかった。

### 【 調査結果 】

鋸南町役場公式サイトきよなんまち「きよなんのむかしばなし」によると、江戸時代の神代学者、山口志道(山口杉庵)が発表した説であり、その根拠として、勝山の田子台の下の海が田子の浦と呼ばれていたことと、山部赤人が上総国山辺郡(東金市)出身であるらしいことが挙げられている。

次の資料にも関連した記述があった。

『安房先賢遺著全集』(安房先賢偉人顕彰会編 国書刊行会 1981)、15 ページ

『房総万葉地理の研究』(今井福治郎著 春秋社 1964)、359 ページ

『安房先賢偉人伝』(安房先賢偉人顕彰会 国書刊行会 1981)、128 ページ

### 担当者のコメント

調査のあたりをつけるためにインターネット上の情報も活用します。ネット上には信憑性のない情報もあるので、情報の発信元が公共団体、大学、専門家などの信頼できる機関や人物かどうかを確認しています。

### ■ 県立図書館の資料は、市町村立図書館などを通じて利用することもできます。

お近くの図書館、あるいは公民館図書室等の読書施設にご相談ください。(一部ご利用いただけない施設もございます。各施設にご確認をお願いいたします。)

### ■ 県立図書館では、千葉県に関する資料を収集しています。

グループ・職場などで資料を発行されたときには、情報をお寄せください。

編集長の独り言……長かった残暑もようやくおさまり、すっかり涼しくなりました。暦は霜月となり、読書するにも旅行するにも良い季節です。今年の春、日本遺産に認定された北総四都市を巡るのも良いでしょう。今号では日本遺産に関連した資料をご紹介しましたので、参考にいただければと思います。

編集・発行：  
千葉県立東部図書館

〒289-2521  
千葉県旭市ハの349  
0479-62-7070  
[http://www.library.  
pref.chiba.lg.jp/](http://www.library.pref.chiba.lg.jp/)